

日本語教室の意義解説

池上さん(静岡文化芸術大副学長)がセミナー

湖 西



日本語学習支援の重要性を語る池上副学長
|| 湖西市の新居地域センター

湖西市は22日、地域長(56)が講演し、日本に住む外国人の日本語教室の外国人にとっての意義を語った。池上副学長は在留外国人の現状として、1990年からの約30年間で約100万人

から約273万人に増加した推移を説明。近年の外国人受け入れ政策の転換により国内で働く外国人がさらに増えることから、より充実した労働環境の整備に加え、日本語学習の重要性も増すとした。

地域の日本語教室について「外国人にとって職場でも家でもない、地域の日本人と出会える第3の場」と強調。日本語学習支援に携わるボランティアの

役割の大きさも指摘した。ボランティアや支援に関心がある市民ら約80人が聴講した。1月19日、2月2日にも湖西市健康福祉センターでセミナーを行う(湖西支局・大沼雄大) 5) 2008へ。 協会へ電053(57

役割の大きさも指摘した。ボランティアや支援に関心がある市民ら約80人が聴講した。1月19日、2月2日にも湖西市健康福祉センターでセミナーを行う(湖西支局・大沼雄大) 5) 2008へ。 協会へ電053(57